

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

SAKAI WEST

自分を飛び越えろ！！（飛翔 さらなる高みへ）

アクティブラーニング（調べ・教えあい・考え・導き出す）の実践 ▶ 英語力^{プラス}＋キャリア教育の実践 ▶ 多様な希望進路 100%の実現

1. 「未来につながる確かな学力」の育成
2. 「一体感のある教育力向上」（教育環境整備事業と教育力向上の相乗効果）
3. 「西高コミュニティ」の充実と発展

2 中期的目標

1. 未来につながる確かな学力の育成、さらなる希望進路の実現

(1) 多様な希望進路実現（理型・文型・体育・芸術表現創造コース・医療看護系）に向けて教職員が一体となり取り組む。

ア. 授業力向上に邁進するとともに、進学講習「High Level Study Group」、外部メディアを活用した自己学習「受験サプリ」、早朝の自習室開放「朝学」および、大学生による受験指導「My Study」により総合的に学びをサポートする。

イ. 「学習サポート委員会」を立ち上げ組織的に新たな学力向上の方策を検討・実施する。

ウ. 3年間で身につけさせる学力到達度（西高 Standard）を各教科で検討し、High Level（難関校受験）、Basic Level（西高 Standard まで支援）に対応して生徒の学力・進路に応じた学力保障を行う。

エ. 進路指導部・学年団が一体となり希望進路の実現を全力でサポートし、さらなる高みへ生徒が挑戦するよう指導する。

※国公立・難関私立大学合格者 10 名以上、センター試験受験者 20 名、第 1 志望校合格者 80%以上、就職率 100%をめざす

オ. 外部人材によるキャリア講演会、先輩による進学講演会等によりキャリア意識を醸成する。

カ. 「アートスタジアム」（H24. から続く芸術コース・文化部の発表会）をさらに充実させて大勢の人前で発表することで表現力を養う。

(2) 「わかる授業、魅力ある授業」を目標にした弛まぬ授業改善

ア. アクティブラーニングにより生徒が調べ・教えあい・考え・導き出す授業を実践する。

イ. 英語に親しみ楽しむ観点を取り入れた英語 4 技能を高める授業に取り組む。併せて英検受験を奨励し英語の技能を向上させる。

ウ. ICT を活用した授業をさらに推進し多面的に生徒の理解度を高める（ICT 授業のスキルを教員相互で共有する）。

エ. 授業アンケートをさらに活用して授業の改善点を確認し積極的に授業力を向上する。

オ. 全員参加型の研究授業を発展させ、併せて校内の研究授業を充実させる。

※「分かりやすい授業」「教え方を工夫した授業」の肯定的評価 60%以上

(3) 英語力^{プラス}＋キャリア教育の推進（英語力とキャリア教育の充実）

ア. 海外の修学旅行等の受け入れや留学生との交流を図り肌で感じる国際教育を実践する。

イ. 高い志を持った勤労観・職業観を育成するため、先輩や外部人材から生の声を聴かせる（実感できるキャリア講演会の実施）

(4) グローバル化に対応した人権意識の醸成

国籍、性、障がい、年齢、地域等の差別意識を排除し共に協力して考え行動できる生徒を育成する。

2. 一体感のある教育力向上（教育環境整備事業と教育力向上の相乗効果）

(1) 生徒のために教職員・PTA・同窓会・後援会が協力し「A11 西高」でハード・ソフト両面で「教育環境整備事業」を成功させる。

(2) 学ぶ組織を定着させる（研修の活性化）

フレッシュミーティング（教職経験の少ない教員を対象にした研修会）をより充実させる。

ア. 授業力向上に向けて ICT の活用やユニバーサルデザインを用いた表現力、自主性を育成するアクティブラーニングを活用した授業に挑戦する

イ. 外部研修に積極的に参加すると共にベテラン・中堅・若手教員の交流を促進し授業力・生徒対応全般にわたる学ぶ組織を創る。

(3) 課題のある生徒・要配慮生徒を組織的に支援する

ア. 教育相談委員会と学年団が連携し、担任が適切に課題のある生徒に対応できるよう情報を共有し丁寧な支援を行う。

イ. SC（スクールカウンセラー）と連携を密にして、不登校気味や抑うつ傾向にある、こころに課題を抱える生徒・保護者の良き相談者、アドバイザー機能を高める。不登校の未然防止、ドロップアウトの防止につなげる。

ウ. 教育相談室を充実し相談者やその他課題のある生徒にとって安心できる安らぎの場とする。

(4) 図書館をさらに充実させ読書活動を活性化する。

3. 地域と共に育ち活躍する「西高コミュニティの充実」

(1) 開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流を行う

卒業生、地域人材、大学生などの外部人材を積極的に発掘活用する。また、中学生を招いた大会である「西高カップ」を継続し地元中学校との連携を深める。加えて、近隣小学校の児童を対象としたスポーツキッズプログラムを発展させる（地域の学校間連携の強化）。

(2) 地域貢献活動やボランティア活動を推進する

外部の方からも「西高はきれいで、気持ちのよい挨拶ができる」と言ってもらえるよう「美化運動」や「あいさつ運動」を実施する。

また、地域の一員として通学時の交通ルール順守はもちろん、西高生のプライドを自覚させる服装、遅刻減少を指導する。

(3) 西高の取り組みを積極的に発信する。

HP、学校説明会、中学校訪問、部活交流等をさらに活性化することで広く西高の魅力を伝える。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>■満足度：生徒に対する学校教育自己診断（生徒用）のアンケートによれば「学校は楽しい」の項目で 81.3%（+0.3%）が肯定的な回答をしており満足度が高い。その背景には「学校の部活動は、盛んである」82.6%、「西高祭やクラスマッチなどの学校行事に積極的に関わっている」69.7%の肯定的な回答に見られるように、部活や学校行事に仲間とともに頑張ることで達成感を味わい充実した高校生活を送っていることが伺える。■特色づくり：普通科の特色づくりの一環として平成 22 年度から設置した「体育・芸術表現創造コース」において例年実施している音楽・美術・書道の発表会であるアートスタジアムも 6 回を数え、内容も充実している。今年はアートスタジアム実行委員会を立ち上げ学校全体でバックアップした結果 700 名を超す来場者があった。体育コースにおいてはプール学院大学と高大連携授業「スポーツ概論」において同大学教授による授業が年間と通じて設定されている。コースに所属する生徒の専門性が高まり一定の成果を上げている。また、カリキュラムにおいて選択の幅を広げ、看護・医療系に進学を希望する生徒にも有利になるようにきめ細やかな対応をした。■学校生活：学校生活の基本である「安心安全の教育環境」の実現に関して「校則やマナーを守っている」と答えた生徒は 79.6%（-1.7%）、と若干肯定的な回答が減少したものの、関連項目では「命の大切さについて学ぶ機会がある」53.4%（+4.7%）、「担任以外に保健室や相談室などで気軽に相談できる先生がいる」41.3%（+5.3%）とそれぞれ向上し、教育相談委員会を中心に課題を抱える生徒に対して丁寧に向き合ってきたことに一定の成果が表れた。進路指導に関して 1 年次より 3 年間を通じたキャリア教育を行った結果「生徒の興味・関心・適正・進路に応じて選べるコースを設けている」の 71.8%（+1.2%）進路の情報提供を含め、将来の進路や生き方について考える機会がある 67.3%（+3.9%）に見られるように 2 年連続して改善が見られた。■授業力・学力向上：生徒の学力向上に資する授業力に関する項目は「わかりやすい授業が多い」47.5%（+3.8%）「教え方に様々な工夫をしている」51.0%（+9.2%）は全アンケート項目中で突出した改善となった。3 年前に全教室に設置したプロジェクターを使用する教員が 75%に達しており ICT に対する教員の取り組みが変わったことに加えて、教育センター指導主事によるアクティブラーニング研修や全員参加のアクティブラーニング研究授業を行うなど教員の授業改善に対する意識が高まった。また、今年から、学習サポート委員会を立ち上げ、生徒めせんの学力向上策として①スタディアプリの視聴時間向上の取り組みや②公務員試験突破に向けて専門学校と連携授業の実施を行い生徒の進路ニーズに応えた。また、授業の充実で一定の成果が見られたが自宅学習について、予習・復習をしている 26.7%（+3.2%）や自宅学習時間 2 時間以上 9.8%（+0.1%）、1 時間以上 8.6%（-2.5%）と課題を残した。また、約 3 割に及ぶ「自宅学習時間なし」の層の改善に向けての取り組み強化と共に自宅学習時間の増加が、授業力向上や補・講習の強化に加えて、次年度以降の課題となった。■保護者の意見：保護者の学校教育活動への参加を促進するために公開授業や学校行事への参加を呼び掛けた結果、昨年より +4.4%向上して約半数（48.7%）の保護者が何らかの形で来校された。加えて学校教育活動の理解を示す指標として「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の項目も 3.6%向上して 63.0%になった。同様に、「学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている」3.9%向上して約 7 割（69.9%）の保護者が進路指導に肯定的な評価を行った。生活指導では微増ではあるが 76.4%（+0.7%）が「校則・社会的ルールの指導など生徒指導の方針に共感できる」とした肯定的な意見が多く西高祭（文化祭・体育祭）などの学校行事が盛んである 83.3%、「部活動を積極的にすすめている」77.7%に次ぐ高評価であり、進路指導・生活指導について一定の高い評価をいただいた。また、「生徒は内容が分かりやすく楽しい授業が多い」との項目は 3.7%向上したが肯定的評価は 33.6%に止まった。生徒に対する質問と異なり、質問項目に「わかりやすい授業」に加えて「楽しい授業が多い」が入っていることと授業に対する保護者の期待が高いことを表しており、継続して解決していく課題としたい。反面、前年比マイナス項目は、増加項目 15 に対して 5 項目と先般的に肯定的評価の増加が勝ったが「生徒は学校が楽しいと言っている」75.9%と高評価を維持しているものの -1.1%と「生徒は気軽に先生と相談できる」60.8%（-0.5%）が僅かであるが減少しており気にかかる。この項目については、生徒の評価が向上しているにも拘らず減少しており、実態把握に努めると共に課題を抱える生徒は勿論、どの生徒にとっても相談できる教員が必ずいることを目標に「面倒見の良い学校」をめざして組織的に丁寧な生徒対応ができる体制を整えたい。■学校教育自己診断から導き出される次年度の方向性 部活・行事を通じて生徒の満足度は高いが授業+自宅学習でさらに学習面のサポートを強化し「知る喜び、分かる楽しさ」を高めたい。教員間でアクティブラーニングに対する取り組みも高まっており、多様な教育環境で次期学習指導要領、高大一体改革に対応した取り組みを加速させる。また、授業・生徒対応に時間を割くために、既存の分掌業務にムダ・ムラ・ムリがないか検証し職務の見直しを実施する。</p>	<p>第 1 回学校協議会（H28/6/20）：平成 28 年度学校経営計画の説明 平成 28 年度学校経営計画を校長から学校協議会委員の皆様の説明 ・具体性がある学校経営計画だと思う。タイトルの「自分を飛び越えろ」と生徒を鼓舞する呼びかけは良いと思う。 ・地域交流：西高コミュニティの充実について、福泉小・桃山台小などどのような形で関わるのが望ましいか。 ・堺西高校で近隣小学校の児童を対象にスポーツ教室を行っていますが、文科省が実施を指示する運動器疾患調査を進めて欲しい。ケガ等の把握をして支援に役立てて欲しい。スポーツ教室（スポーツキッズプログラム）は今年最後になるのかもしれないのが残念です。 ・スポーツキッズプログラムは、前教頭の舞先生の発案で始めた取り組みですが新聞で取り上げられるなどとてもインパクトがありました。当初から市民レベルの地域スポーツクラブをめざした取り組みでしたので、次年度から主催を西高から地域に変えて存続します。西高としては、これまで通り地域の小・中学校、支援学校と出前授業水泳教室・AED 講習・学校施設の相互利用等で交流を深めていきます。 ・西高カップはスポーツだけですか？ 西高カップは、現状、ソフトテニス部・サッカー部・バレーボール部が地域の中学校に呼びかけて行っていますが、堺市に止まらず、和泉市・高石市・大阪市からの参加もあり、かなりの中学校に認知されています。また、以前は西高スクールと称して芸術・情報の先生方でパソコン、書道、楽器、絵画の文化教室も行っていましたこともあり、前述のスポーツ教室の実施により現在、西高スクールは休止していますが再開することも検討していきます。 ・授業についてですが、アクティブラーニング等の実施があつた狭い教室環境では厳しいのではないのでしょうか。施設設備面で、先生たちの授業への工夫が生徒に伝わりにくいと思われます。 ・確かに、普通教室は堺市仕様なので他校より狭いですが、プロジェクターを活用して視聴覚訴える授業で生徒の興味・関心を高める授業を展開しています。また、自発的、協働的な深い学び実現のために、アクティブラーニングについて教員の研究授業を行う予定です。教員間相互の授業観察も積極的に行っており「わかりやすい授業」「工夫された授業」を増やす努力を行っています。 ・西高にも多くの生徒が在籍していますが LGBT に敏感になって欲しい。こんな生き方ありと生徒に知らせることも必要ではないか。 ・人権学習で取り上げることを検討します。 ・保護者として動きのある授業の取り組みは評価したい、きっかけがあればいいと思います。1 年は部活動ばかりにめがいているので、評定のことももっと知らせて欲しい。また、評定に関する理解があまり浸透していない保護者も一定数いると聞きますので意識を高めることにより、やる気が出てくるのではないかと。 ・1 年から知らせているが、なかなか浸透しないことがあります。 ・学校の努力にも拘らず 1 年の意識向上につながっていないようなので、あとは意識 1 年生から担任の先生方で歩調を合わせて、よりよい方向に持って行ってください。 第 2 回学校協議会（H28/12/1）：アクティブラーニング研究授業（教員全員参加）で助言を頂く。 第 3 回学校協議会（H29/3/23）：平成 28 年度学校経営の成果報告と次年度に向けた助言を頂く ・指定校推薦/A0 入試/公募推薦等で大学進学が早く決定する中で 3 年生がどこまで勉強しつづけているのか割合を教えてください。 ・指定校推薦 15%、A0 入試 15%、公募推薦 30%ですのでセンター入試や一般受験の割合は 40%です。 ・堺西高校は、全員が大学や短大に進学する学校ではないので、専門学校や就職する生徒についても勉強する習慣を養い社会に出る最低限の学力保障をお願いしたい。 ・学力保障につき「西高スタンダード」を教員間で話し合い ①受験講習を組織的に実施 ②専門学校と連携して公務員志望者に対する出前授業の実施 ③職種別のキャリア教育等を行っているところです。その結果、ここ数年難関私大（関/関/同/立）や国立大学への合格者も輩出しました。今年度は国立大学現役合格者 2 名、既卒者ですが同志社大学/立命館大学にも合格しました。また、専門学校志望者には将来の職業を意識して進路選択することを徹底し、就職もほぼ希望するところに決定しています。このように多様な進路選択に対応していますが、自宅学習時間も含め教員の弛まぬ授業改善の努力により学力向上を追求する姿勢は今後も続けてまいります。尚、授業力と自宅学習時間の改善は来年度も主要な課題に据え取り組みます。 ・部活と受験の両立等、最近の傾向として、生徒がしんどいことを避ける傾向がありますが、安易な進路選択に陥らないよう高校生活を充実させつつ希望進路を実現するようお願いしたい。また、大学入試制度改革もあり中堅校としての立ち位置を確保すべく、なすべきことと止めることを仕分けてスクラップ&ビルドを行い興味・関心を引く授業づくりと地域との触れ合いも大切にして地元で親しまれる堺西高校をさらに推進して頂きたい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 未来につながる確かな学力の育成と多様な進路の実現	<p>(1) 多様な進路ニーズに応えそれぞれの希望進路を実現する</p> <p>(2) 分かる授業・魅力ある授業をめざした授業改善を進展させる</p> <p>(3) 英語力とキャリア教育を併せた取り組みの実践</p> <p>(4) 第1志望進路の実現</p> <p>(5) グローバル化に対応して違いを認めあう人権意識を養成する</p>	<p>(1) - ①受験サプリ導入2年目、より一層の改善と有効活用を進める。 (1)-②「High study」(進学講習)「My Study」(大学生による進学指導)朝学(早朝の自習室開放)の受験サポート体制を見直しさらに充実させる。</p> <p>(2) 学校教育自己診断、その他のアンケート等から授業に関ニーズを把握しアクティブラーニング・ICTを活用した授業を広く推進する。</p> <p>(3) - ① 英語4技能を伸ばす英語の授業に加えて英語を好きにさせる魅力ある授業を進める。 (3) - ②英検を奨励し資格取得を奨励し段階的に上位の級に挑戦させる。</p> <p>(4) 第1志望の進路実現に向け学校をあげて支援を行う。</p> <p>(5) 生徒向け人権講演会等で生徒自身の人権意識を向上し、共に学び・共に育つ心を磨く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受験サプリ利用者100名以上 ・自学自習時間0～30分の層を1時間以上に「0～30→1時間以上+10%」 ・学校教育自己診断アンケートの「分かりやすい授業」の肯定的回答60%以上 「工夫された授業」の肯定的評価を60%以上 ・listening, Speakingを取り入れた授業や発表会の実施 ・英検合格者100名以上を確保、更なる上級にチャレンジ2級・準2級5名以上合格 ・センター受験20名以上内、第1志望校合格80%以上、就職率100%の確保 ・身近な差別を考える取り組みの実施, 人権講演会肯定率80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験サプリは120名が申込み、最終的に110名が利用した。生徒の利用状況をデータ分析して利用促進を促すと共に補習や質問に対応した(○) ・自宅学習時間は2時間以上の層が微増したが0～30分の層は変化しなかった(△) ・学校教育自己診断(生徒)アンケートで「わかりやすい授業」47.5%(前年比+3.2%)「工夫された授業」51.0%(前年比+9.2%)の肯定的評価は共に前年に比べ向上したが目標には届かなかった。来年度も継続して授業力向上に取り組み授業の理解度を向上させたい(△) ・英検は準2級19名合格、3級に15名+α名が合格した。合格者総数は目標に届かなかったが準2級合格者は目標の約4倍に達した(○) ・指定校・公募推薦入試を選択する生徒が多くセンター試験受験者は10名であった。ただ、目標とする第1志望には殆ど合格しており就職も100%決定した(○) ・人権講演会は86%が肯定的評価だった。次年度も人権意識の向上に向け内容を精査したもので講演会を実施する(◎)。
2 「一体感のある教育力向上の実現」 (教育環境整備事業と教育力向上の相乗効果を発揮)	<p>(1) PTA, 紫友会, 後援会と連携を密にして生徒のためにハード・ソフト両面で教育環境を整備する。</p> <p>(2) 設備を有効活用し授業改善につなげる。</p> <p>(3) 各教科で3年間で学力到達目標の設定</p> <p>(4) a11西校で改革</p>	<p>(1) 学校を取り巻く権利者(ステークホルダー: 生徒・保護者・教職員・地域住民、大阪府教育委員会 etc.)を意識してコミュニケーションを密にした教育活動を行う。</p> <p>(2) 生徒が主役、生徒の視点で、授業力、学校運営の改善に向けベクトルを合わせた改革に挑戦する。</p> <p>(3) 各教科で在学中3年間で生徒を成長させる。到達目標を具体化する。</p> <p>(4) 学校改革に向けチームで挑戦する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境整備事業の推進 ・西高祭(文化・体育の部)や授業参観の保護者数を増加する(前年比+10%) ・「工夫された授業」への学校教育自己診断生徒アンケート肯定的評価回答60%以上 ・各教科で到達目標を盛り込んだシラバスを検討し到達目標「西高 Standard」を共有する ・学年・分掌・教科で新たな取り組み^{プラス} New 1運動を実施 ・学年、分掌、教科を超えた Staff 会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境整備事業はPTA・同窓会・後援会の支援によりLL教室/グランド/プールの改善ができた。学校教育自己診断アンケート(保護者)より公開授業/学校行事に参加した保護者は4.4%増加して約半数の48.7%に達した。目標には届かなかったが実数で40名強の保護者の来校が増加した(○) ・授業改善の判定要素である「工夫された授業」に対する生徒の学校教育自己診断の肯定的評価は9.2%と大きく伸びたが目標には届かなかった(△) ・到達目標「西高 Standard」は観点別学習評価に読み替えて各教科でシラバスに反映することになった(○) ・各分掌で年度初めに新たな取り組みを行動計画に入れ連携 Staff 会議も実施した(例) 進路: 公務員試験講習/実力診断テスト導入、生指: 校外見回りの実施等(◎)
3 地域と共に育ち活躍する「西高コミュニティの充実」	<p>(1) 開かれたクラブ活動・学校行事で一層の地域交流を図る</p> <p>(2) 地域貢献ボランティア活動を推進する</p> <p>(3) 異校種連携の一層の充実と発展を行う</p> <p>(4) 西高生徒の地域における評判を高める</p>	<p>(1) クラブ活動「西高カップ」の開催や文化部の地域祭りや施設の訪問発表を行う</p> <p>(2) 西高はきれいで気持ちの良い挨拶ができてい、と言ってもらえるよう、校内や地域での「美化運動」や「あいさつ運動」を展開する</p> <p>(3) 福泉南中学校、福泉中央小学校、桃山台小学校との連携、泉北高等支援学校との交流を行い学校相互の理解を深め小中高が一体となって生徒の成長を見守る。加えて、プール学院大学桃山学院大学との高大連携のさらなる活性化を図る</p> <p>(4) 生活指導を通じてルール順守の必要性を教え卒業後も信頼される西高生を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「西高カップ」の参加中学生累計1,500人以上 ・小学生対象のスポーツクラブ(スポーツキッズプログラム、ダンス教室参加者累計2,000人以上) ・近隣小学校教員に出前授業(水泳指導を含む)、AED講習を2回以上実施 ・美化運動、あいさつ運動を計画的に実施し年回5回以上も清掃活動を行う。 ・懲戒10件以内、遅刻累計2,000件以下への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・西高カップの参加者はソフトテニス部の夏冬の2回開催をしたこと近隣中学校を会場に加え累計1,800名に達した(◎) ・近隣小学校のスポーツ教室はスポーツキッズプログラム/バレーボール教室合わせて累計2,080名が参加した。来年度以降は地域の取り組みとして継続する予定(◎) ・近隣小学校には水泳指導/AED講習運動会のテント貸与/中学校のグランド借用等施設の相互利用が促進した(◎) ・全校清掃は年6回実施し、挨拶運動は後期生徒会が9月以降毎日実施している(◎) ・生活指導面では遅刻が約900件減少した。目標2,000以下に対して2,005件とほぼ達成できた。懲戒件数は校外見回り実施で増加した(○)